



2010～2011 年度 RI 会長
Ray Klingensmith



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1101 / 2010. 07. 30

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaki

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報

「原点に帰ろう 友情と絆 行動する赤坂ロータリークラブ」

2010～2011年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ/吉岡琢磨会長

●本日の例会/ 2010 年 7 月 30 日 第 1126 回例会

卓話：「経済成長戦略の方向性と首都圏の位置付けは
どうなるか? : 参議院選の結果をふまえて」

モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社 マネージング・ディレクター
早稲田大学客員教授 赤井 厚雄 氏

●前回報告/2010 年 7 月 23 日 第 1125 回例会

卓話：第 2 回クラブ協議会 13:10～14:30

テーマ：「長期計画ならびに親睦活動の活性化」

会長報告：千代田グループ金澤ガバナー補佐ご挨拶



幹事報告：(橋本 年男)

「リーダーシップ育成セミナー」のリーダーが村山会員
となりました。

本日は、金澤ガバナー補佐が
来席されておりますが、村山
リーダーは金澤ガバナー補
佐に指導を受けて当クラブ
の新会員へ指導して頂く事
になります。テキストも現在
金澤ガバナー補佐にお願い
致しております。



親睦活動委員会：(岩上 委員長)

去る 7 月 21 日 (水) に開催致しました暑気払いには 24 名の
ご参加を頂きありがとうございました。

8 月 3 日は火曜会です。次回の会
場は、37 階シリウスです。スピー
カーは西澤民夫会員です。皆様
方の参加を宜しくお願い致しま
す。



●次回予告/ 2010 年 8 月 6 日 第 1127 回例会

卓話予定：「現代情報化の大変革期を
生き抜くには時代認識と人間力」

株式会社矢野経済研究所 特別顧問
矢野 弾 氏 (東京世田谷 RC)

職業奉仕委員会：(竹本 委員長)

今年の職業奉仕の目玉でありますインターンシップ受け入
れ企業募集のご案内です。

実施は 12 月 14, 15 日の
2 日間ですが、受け入れ企業
募集締切りは 7 月 30 日です。
メールにて回答書を送付し
てありますので、こぞって受
け入れ企業様のエントリー
をお待ち申し上げます。



出席報告：会員 49 名 / 出席 27 名・欠席 22 名

ビジター：千代田グループガバナー補佐 金澤洋 (東京
新橋 RC)、千代田グループグループ幹事 猪山敏郎 (東京
新橋 RC)、小林啓文 (東京 RC)、神通豊 (東京南 RC)、藤
本篤志 (東京北 RC) 計 5 名 (順不同・敬称略)

7 月 23 日 / 13 件 30,000 円 本年度累計 145,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

ガバナー補佐 金澤洋、グループ幹事 猪山敏郎 (東京新
橋 RC)/今年度ガバナー補佐の金澤とグループ幹事の猪
山でございます。本日はご挨拶に伺いました。よろし
くお願い申し上げます。小原健/岩上さん、先日の暑気
払い楽しませていただきました。ありがとうございます。
迫力のある暑さを楽しみましょう。吉田用親/
お暑うございます。熱中症に気をつけましょう。入澤
頼二/四分一さん、ニコニコお世話になります。尾関武
男/連日猛暑の中、地方出張でがんばっております。四
分一さんニコニコご苦勞様。お体を大切に、暑さにま
けず。清水寛/暑い、暑いと口に出しても黙っていても
暑い。四分一さん、ごくろう様です。西澤民夫/お暑う
ございます。橋本年男/四分一さんニコニコお疲れさま
です。金澤ガバナー補佐様、猪山グループ幹事様、よ
うこそいらっしゃいませ。小林博茂/暑いとしか言葉な
し! 尾上寛/金澤ガバナー補佐、猪山グループ幹事よう
こそ赤坂 RC へ。岩上義明/21 日に開催致しました暑気
払いには、大勢の皆様にご参加頂きまして誠にありが
とうございました。佐藤雅彦/暑気払いに出れませんで
した。そのせいか頭がぼうーとしています。暑いです
ね。四分一さんニコニコご苦勞さまです。四分一勝/
今年の夏は豪雨に酷暑と大変な年です。皆様お気をつ
けて。久々のニコニコ担当です。

東京赤坂ロータリークラブ暑気払いの会報告

7月21日(水)の夜、上野池之端「亀屋一睡亭」で会員の奥様5名を加え総勢24名の参加を頂き盛大に楽しく行われました。当日は38度近い猛暑日でしたが、岩上親睦委員長の軽妙な司会で始まり、吉岡会長のご挨拶の後、長老の武下元会長の乾杯の御発声で開始されました。二宮会員のご尽力により八海山酒造より、美味しい吟造酒また大吟造酒がふんだんにテーブルの上に置かれ、差しつ差されつ皆さんご機嫌の様子でした。また鰻料理も大変好評で外の暑さを吹き飛ばす勢いでした。

最後は高須副会長の中締めで閉会となりました。岩上親睦委員長大変良いお店をご紹介頂き、またお酒の手配まで本当にお疲れ様でした。
(石井記)

参加者：岩上、石井、尾上、入澤、秋吉、橋本、長谷川(弘)、飯島、勝山、村山、西澤、小原、清水、高須、竹本、武下、内田、吉岡、藤井、石井喜子、岩上曜子、小原栄子、高須貴久子、吉岡登美子、計24名(順不同敬称略)



吉岡会長挨拶

(左から)小原夫人、吉岡会長夫人、高須副会長、石井夫人、高須夫人、岩上夫人



吉岡会長(中央)、高須副会長(右)、橋本幹事(左)



武下会員



(左から)橋本幹事、勝山会員、清水会員、入澤会員、高須副会長



竹本会員

(左から)小原夫人、藤井会員、勝山会員、吉岡会長、岩上会員、高須副会長、石井会員



(左から)尾上会員、高須副会長、吉岡会長、石井会員



吉岡会長夫人

(左から)村山会員、飯島会員、橋本幹事



(左から)長谷川会員、清水会員、入澤会員

7月16日 第2750地区会長・幹事会報告

2750地区第一回会長幹事会が2010年7月16日(金)にホテルオークラ東京で開催されました。当クラブからは吉岡会長と橋本幹事が参加いたしました。会議は15:00から辰野ガバナーの開催・点鐘で始まりました。

1. 辰野ガバナー挨拶要旨は次の通りです。

- ① ポリオ撲滅活動の成果があがり、感染者数は、インド0人、ナイジェリアで3人と非常に少なくなった。
- ② 「長期計画」については各クラブからワークシートを提出して頂いた事に対して短期間で長期ビジョンを示された事に謝意があった。又この計画は会員増強にも直結するものである事が述べられました。さらにロータリークラブは単年度制である為、長期計画はロータリークラブには馴染まないと言われておりますが、1年で終結させるには非常にもったいない案件が多く、皆で知恵を出して継続できるものは計画の中で実行してほしい、例えばボランティア活動で出来ることから継続して実施したら良い。そして会員相互が共有の理解出来る場を作る努力をしてほしい。この計画は役員・会員が組織の発展と継続を実施する事の道標と成る事を期待します。クラブの長期的ビジョンをクラブ協議会で意見交換をして練り上げてほしい。

2. 各委員会報告

- ① 会員委員会「規定審議会について」 (坏 昭二 委員長)
 - ② 奉仕プログラム委員会 (熊野 隆喜 委員長)
 - (1) 青少年交換は今年度8名が7月30日に来日する。/日韓の短期交換が実施。/日本から4名訪問、韓国から4名来日。
 - (2) インターンシップは、8高校が応募。都立芝商業が今回はじめて応募。千代田、山の手が担当する事となった。生徒は213名と非常に多いが対応を願いたいとのこと。
 - ③ 広報委員会 (水野 雅生 委員長)
 - ・銀座ロータリークラブでの蜜蜂プロジェクトでは銀座に蜜蜂が住みついた。
 - ・各クラブではどのような広報活動をおこなっているか話を聞きたいと考えている。
 - ④ ロータリー財団委員会 (福井 衛 委員長) ・寄付金は自分のクラブに反映される。
 - ⑤ 米山記念奨学委員会 (青柳 薫子副委員長)
 - ⑥ リーダーシップ育成セミナー (鬼島 弘明リーダー補佐) このセミナーは会員増強の一環です。辰野年度においては画期的なものであり、新会員を中心としてロータリーの歴史や奉仕のあり方を学ぶ事を3段階方式で構成されております。テキストも用意しましたので活用してください。
 - ⑦ 長期計画について (松本統括地区幹事)

皆さんが作られたワークシートは非常に良く出来ている。/3月31日までにクラブ協議会で議論を重ねて完成品を出してほしい。/長期計画委員会を作ってほしい。委員会構成は過去、現在、未来を考える事なので、キャリアの豊富な会員が中心と成るのが良いでしょう。
- ### 3. 親睦会
- 18時30分からホテルオークラ東京「アスコットホール」で開催されました。終了時間は20時30分過ぎでした。非常に有意義な会長幹事会でした。(橋本記)

第2回クラブ協議会議事録

日時： 2010年7月23日(金) 13:10~14:30 (80分)

場所： ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1「オーロラ」

テーマ： 前半/「長期計画について」 後半/「親睦活動委員会の活性化について」

出席者： 吉岡琢磨、高須康有、橋本年男、四分一勝、尾関武男、清水實、武下朗、岩上義明、佐藤雅彦、竹本孝三郎、西澤民夫、尾上寛、吉田用親、小林博茂、入澤頼二、渡部一元、内田憲三、飯島規之、村山公士、庄司泰典、大日方真 計21名(順不同敬称略)

<前半>

(1) 長期計画について説明(橋本幹事)

ロータリークラブには、超我の奉仕が基本にあります。

1. 超我の奉仕の3本柱

① クラブのサポート強化

- ・四大奉仕(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕)部門の全部門における調和の取れた活動を行う。
- ・リーダーを育成する。
- ・他

今回ここにクラブと地区における長期計画の立案を奨励するが組み込まれました。

② 人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオを撲滅する。
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する。
- ・他

③ 公共イメージと認知度の向上

- ・職業奉仕の理想を強調する。
- ・他

以上の超我の奉仕を見すえて効果的なクラブはどのように実施していくかがあります。

2. 効果的なクラブ

- ①会員基盤を維持、拡大する。
- ②成果のある奉仕、プロジェクトを実施する。
- ③ロータリー財団を支援する。
- ④クラブレベルを超えた指導者を育成する。

以上の観点からロータリークラブは単年度で締めくくるのは非常にもったいないという考え方から、継続性をもって行動すべきものは共通の理解を基本に実施していくのが長期計画です。この計画は、辰野年度で初めて取り入れられました。(意見の中に長期計画はロータリークラブが単年度制であり、ロータリークラブにはなじまないと言われておりますが、これを乗り越えてビジョンの活性化に努めてほしいとあります)

3. 長期計画ワークシートの作成について

①2010.7.1 迄に提出していただく「クラブ長期計画」作成に当たっては初めてのことなので「長期計画」そのものに対する理解に時間がかかる、或いはクラブ内の意見を調整する機会を設け合意したものを作成するのが難しい等で、今回提出は現時点で分かる範囲で記入、今後検討していく材料となるようなもので良いという事であり、とにかく作成し、これを第一ステップと考える。

②2011.3.11 迄に提出する「クラブ長期計画」

2010.7.1 に作られたものをもとに、クラブ協議会、理事会等で十分時間をとり、内容をよく検討し、クラブ会員皆様のコンセンサスの取れたものを作成する。

③長期計画委員会を結成する。

(2) 自由討論

吉田(用)：何をやるにしても会員の理解を得なければ先に進まない。長期計画についても、理解を得て、深めることが重要。昨年度の財政の問題は、四分一会長が、まず、やるべきこととして、会員の理解を得て進めた結果として、上手くいった例である。理解を得られ、そして皆の協力と理解がえられた。長期計画についても、このように進めなければならない。そして、ロータリーは単年度で行ってきたわけであるから、長期計画を行うにしても、長期計画と短期計画をわけて考えていくべきだと思う。

大日方：私の考えからいうと、500万の基金を3年で貯めるということは、ここでいう長期計画には当てはまらないと思う。ここでいう長期計画は、クラブの独自性、他のクラブと違う点、我がクラブはこういう特徴があるということをしつくり考え、外へアナウンスするという。例えば、赤坂地区は、大使館が多く国際的な地区である。大使館の人に声をかけて会員になってもらったりするといったことは、他の地域と違った特徴がだせる。どうしたら、我がクラブの特徴をとらえるかといったことをディスカッションし、コンセンサスをえることが、まず、やることである。

村山：確認ですが、この長期計画は RI ではなくて、地区のテーマであり、今のガバナーが提案していることでしょうか？(大日方会員：そうです) 意図は何でしょうか？特徴をだして、それをアピールしてください、ということですか？

橋本幹事：ロータリークラブは従来、単年度主義であるから、長期に行うものは、とぎれてしまうことがある。それはもったいない、ということ。吉田(用)さんが言うように、今までの単年度と長期をわけて維持していくことがまず1点。そして、大日方さんのいうとおり、特徴をいかし、活動していくといったことがある。

村山：ロータリーが単年度主義には大きな意味がある。例えば、独裁的な人が何年も会長をやるといったことを避けるためである。悪弊をひきずらないという知恵である。長期の計画をたてるということは、そういったことに相反するのではないか。私は、長期計画というよりも、大日方さんがいうように、クラブの特色を中心に据えて考えたほうがいいのでは、と思っている。



吉岡：会長会でも、話になりましたが、抽象的な話もあったが、我がクラブは、風の子会など長期的な奉仕も行っている点を話した。大日方さんがいったとおり、クラブの特徴をはっきりだした上で、活動をしていきたいと考えている。10月1日にガバナー補佐の訪問があるが、それまでに進めていきたいと思う。

西澤：大日方さんがおっしゃったことは納得。ロータリークラブは、ずっと1人のひとがやっていくとなると、村山さんがいった通りの悪弊を引きずる結果もある。かといって、創立当初のいいものが、ずっと続かず、途切れてしまうことも考えられる。私は、この長期計画の言葉の意味は、コンセプトをずっと繋いでいくことだと考える。

入澤：大日方さんがいっていることも大きな意味があるが、地区へ提出した書類にある出席率の向上、会員増強、国際的クラブとの友好など、具体的な目標をかかげて、それにむかっていくことで、達成できる目標があり、方向付けができるため必要だと考える。具体的な目標をかかげると、達成するためにはどうするのか、ということ念頭に活動していくので、いいのではないかと思います。

橋本幹事：貴重な意見をありがとうございました。この意見をもとに、3月31日までに練り上げて確実にしていきたいと思えます。ガバナー補佐訪問のクラブ協議会もこれがテーマであるので、これからコンセンサスを共有しながらすすめていきたいと思う。

～後半「親睦活動の活性化について」は次回へ続く～